

# 第67回広島県高等学校総合体育大会バスケットボールの部

## 第3日（6月7日）試合結果

### 広島県立総合体育館 小アリーナ

	L	戦評																									
1 11:00	<table border="0"> <tr> <td>広島皆実</td> <td>18</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>呉商業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19</td> <td>—</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>82</td> <td>26</td> <td>—</td> <td>12</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19</td> <td>—</td> <td>17</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>女子</td> </tr> </table>	広島皆実	18	—	9	呉商業		19	—	22		82	26	—	12	60		19	—	17			—	—	—	女子	<p>第1P、スタートは広島皆実#4#5#6#7#15、呉商業#4#5#6#11#13。皆実はマンツーマンとゾーンのチェンジング、呉商業は3クォーターからの2-1-2ゾーンでスタート。皆実は外角シュートを多投し、リバウンドからの2ndチャンスを確実に決め流れを掴む。呉商業はディフェンスリバウンドを取り切れず、苦しい展開。このピリオド皆実が18-9とリード。第2P、呉商業がディフェンスから流れを掴む。呉商業#11の3P、皆実のターンオーバーからの連続得点もあり、このピリオド19-22として37-31の6点差で前半終了。第3P、皆実#5の3Pをはじめ、スティールからのファストブレイクが出るなど、内外ともにシュートがよく決まり、このピリオド26-12とした皆実が大きくリードを広げる。第4P、呉商業はディフェンスから早い展開に持ち込みたいが、両チーム点の取り合いとなり、なかなか点差が縮まらない。最後まで3P、リバウンドからのゴール下とバランスよく加点した皆実が82-60と危なげなく勝利した。</p>
広島皆実	18	—	9	呉商業																							
	19	—	22																								
82	26	—	12	60																							
	19	—	17																								
	—	—	—	女子																							
2 12:30	<table border="0"> <tr> <td>県立広島商業</td> <td>18</td> <td>—</td> <td>9</td> <td>広島観音</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2</td> <td>—</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>41</td> <td>4</td> <td>—</td> <td>22</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td></td> <td>17</td> <td>—</td> <td>29</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>女子</td> </tr> </table>	県立広島商業	18	—	9	広島観音		2	—	22		41	4	—	22	82		17	—	29			—	—	—	女子	<p>スタートは広商④⑦⑮⑰⑱、観音④⑦⑪⑬⑱。ディフェンスは両チームともマンツーマン。第1P、広商は⑦のミドルシュート3Pで先制。観音は⑦のゴール下で対抗。サイズに勝る観音はリバウンドをがんばるが、なかなかシュートを決めることができない。対する広商はスピードを生かしたドライブを中心にオフェンスを組み立て、④や⑦が得点する。観音は広商のディフェンスに苦しむも、⑦や⑱のゴール下で加点。広商は④⑦のドライブで18-9とリードして第1P終了。第2Pに入り、両チームともディフェンスをがんばるなか、観音⑪が高さを生かしてシュートを決め、点差を縮める。広商はオフェンスのリズムを掴むことができない。観音は⑨や⑮のゴール下で逆転。広商は積極的にドライブをしかけるが観音のディフェンスを破ることができず、逆に⑤や⑱のゴール下でリードを広げられ、20-31で前半終了。第3P、両チームともなかなかシュートを決めることができない展開が続くが、残り6分を切ったところから観音が⑤の3Pを皮切りに連続得点、一気にリードを広げる。広商はタイムアウトを取り、2-1-2ゾーンディフェンスにチェンジするも、観音の流れを止めることができない。広商は積極的に1対1をしかけるが最後のシュートが決まらない。対する観音は⑨⑱がゴール下を支配し、24-53で第3P終了。第4P、広商はオールコートの1-1-3ゾーンをしかけ、⑬の3Pや⑰のドライブで得点。対する観音は④の3Pなどで着々と加点。広商は⑮の3Pなどで追いかけるが、観音は控え選手をコートに送り出す余裕を見せ、41-82で試合終了。観音が明日の決勝へ駒を進めた。</p>
県立広島商業	18	—	9	広島観音																							
	2	—	22																								
41	4	—	22	82																							
	17	—	29																								
	—	—	—	女子																							
3 14:00	<table border="0"> <tr> <td>広島皆実</td> <td>33</td> <td>—</td> <td>23</td> <td>県立広島商業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>33</td> <td>—</td> <td>22</td> <td></td> </tr> <tr> <td>132</td> <td>31</td> <td>—</td> <td>10</td> <td>83</td> </tr> <tr> <td></td> <td>35</td> <td>—</td> <td>28</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>男子</td> </tr> </table>	広島皆実	33	—	23	県立広島商業		33	—	22		132	31	—	10	83		35	—	28			—	—	—	男子	<p>スタートは皆実④⑤⑦⑧、広商⑤⑥⑧⑫⑭。ディフェンスは両チームともマンツーマン。第1P、両チームはインサイドへの合わせで確実に得点。広商は⑧を起点としたナンバープレーも踏まえながらオフェンスを組み立てる。積極的なドライブからファールを誘う場面も多く見られた。対する皆実は⑫を中心としたリバウンドや、スティールからの速攻で④⑤が確実に加点する。皆実が33-23でリードし、第1P終了。第2P、広商⑥の3Pで得点するも、皆実⑧⑫の加点により差が縮まらない。両チームともオフェンスリバウンドに果敢に飛び込み、2ndチャンスをものにした。皆実のミスから広商が連続で得点する場面も見られたが、皆実の流れを止めることがなかなかできない。皆実⑤⑫の加点により差が開き、66-45で前半終了。第3P、またも開始早々に広商⑧が3Pで得点する。しかし、皆実⑤の3Pが広商の勢いを摘んだ。皆実は2番DFを厳しくしたマンツーマンを継続し、対する広商は1-3-1のゾーンを展開する。互いに得点できない時間帯が続いたが、高さで有利な皆実がリバウンドをものにし、再び流れを掴んで一気に加点する。97-55で第3P終了。第4P、広商は積極的なマンツーマンDFを仕掛けるが、大事な場面でファールになってしまふ。後半、皆実は控えの選手をコートに出す余裕をみせ、130-83で皆実が決勝に駒を進めた。</p>
広島皆実	33	—	23	県立広島商業																							
	33	—	22																								
132	31	—	10	83																							
	35	—	28																								
	—	—	—	男子																							
4 15:30	<table border="0"> <tr> <td>如水館</td> <td>21</td> <td>—</td> <td>16</td> <td>広島観音</td> </tr> <tr> <td></td> <td>14</td> <td>—</td> <td>12</td> <td></td> </tr> <tr> <td>61</td> <td>13</td> <td>—</td> <td>20</td> <td>58</td> </tr> <tr> <td></td> <td>13</td> <td>—</td> <td>10</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>男子</td> </tr> </table>	如水館	21	—	16	広島観音		14	—	12		61	13	—	20	58		13	—	10			—	—	—	男子	<p>スタートは如水館④⑤⑥⑦⑨、広島観音は④⑤⑦⑧⑱。ディフェンスは互いにマンツーマン。第1P、両チームともかたさのみられる立ち上がりとなり、ミスが目立った。如水館は⑥のインサイドを中心に得点を重ねる。対する観音は速い展開からの得点する。しかし両チームとも厳しい立ち上がりとなった。如水館が21-16でリードし、第1P終了。第2P、如水館は⑨の3Pで幸先よく得点するがその後得点を伸ばせない。観音は3分間ノーゴールと厳しい展開がつづくが⑦の粘り強いリバウンドや⑤の3Pで一時は5点差まで詰め寄る。しかし終盤、如水館は激しいゾーンディフェンスからリズムを掴み、35-28、7点リードで前半終了。第3P、後半に入り如水館の足が止まる場面がみられる。観音は⑤⑥の3Pなどで得点を重ねる。勢いに乗った観音はオールコートのゾーンプレスで如水館のミスを誘発し、残り1分で逆転。如水館はすかさずタイムアウト。その後、逆に観音のターンオーバーから如水館が得点し、48-48の同点で第3P終了。第4P、観音が先制するも如水館の激しいディフェンスに対して観音はミスが多く見られた。アウトサイドのシュートも確率が上がらない。観音は⑦の得点でつなぐも、如水館がスティールから速攻、⑥のリバウンドなどで得点を重ね、61-58でタイムアップ。如水館が決勝に駒を進めた。</p>
如水館	21	—	16	広島観音																							
	14	—	12																								
61	13	—	20	58																							
	13	—	10																								
	—	—	—	男子																							